

広報

せいざんかい

2016
第34号

発行
平成28年7月20日



閻魔市を満喫してきました。(特養くじらなみ)

社会福祉法人 ^{せいざんかい} 泚山会

いこいの里

- 特別養護老人ホーム(長期)
- デイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所

〒945-1115 柏崎市大字佐水3140
TEL 0257-29-3800 FAX 0257-29-3350
E-mail ikoi@theia.ocn.ne.jp

柏崎市南地域包括支援センター

TEL 0257-31-4515 FAX 0257-31-4525
E-mail minamihoukatsu@cosmos.ocn.ne.jp

柏柳の里

- 特別養護老人ホーム(長期・短期)
- デイサービスセンター

〒945-1502 柏崎市高柳町岡野町2254番地1
TEL 0257-41-2202 FAX 0257-41-2203
E-mail hakuryu@almond.ocn.ne.jp

くじらなみ

- 特別養護老人ホーム(長期・短期)

〒945-0855 柏崎市鯨波2丁目4番3号
TEL 0257-32-1120 FAX 0257-32-1121
E-mail kujiranami@trad.ocn.ne.jp

たんねの里

- 特別養護老人ホーム(長期)

〒945-0857 柏崎市大字谷根3190番地 1
TEL 0257-26-2055 FAX 0257-26-2033
E-mail tanne@clear.ocn.ne.jp

ペペ・メメール

- 特別養護老人ホーム(長期)

〒945-0053 柏崎市鏡町2番14号
TEL 0257-41-6601 FAX 0257-41-6602
E-mail pepe-memere@grace.ocn.ne.jp

トピックス

ボランティアの皆様や施設の行事等ご紹介します。

いこいの里



6月3日、今年度も米山ボランティアの会の皆様に施設周囲の草刈りをしていただきました。とてもきれいになりました。



6月10日 犬のふれあい友の会の皆様が来園されました。かわいい犬、猫たちとふれあい、素敵な笑顔がたくさん見られました。

柏柳の里



2016 柏柳の里 春季環境ボランティア
家族会様より、施設周囲の草刈り、ベランダ清掃、フィルター清掃をして頂きました。窓からの景色も大変よく見えるようになり、利用者の皆様も喜ばれています。

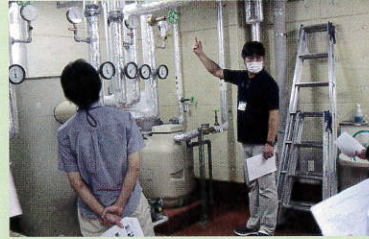


「開園祭」おげさ会様の方々により、春らしく華やかな踊りを披露して頂きました。利用者の皆様、職員一同、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

くじらなみ



毎月生け花教室でお世話になっております佐藤先生より、「いけばな池坊展」が行われると声をかけてくださいました。5月14日(土)、アルフォーレに行って観賞してきました。お花に癒されました。



毎月、防災訓練をしています。4月は、園長より防災設備の説明をしてもらい、6月は、ショートステイ利用者の皆様参加の避難訓練を行いました。

たんねの里



たんねの里では今年度より旧小学校グラウンドの一部を畑にし、利用者の方々と夏野菜の栽培をしています。昨年同様、無事に育つことを祈りながら、収穫できるのを首を長くして待っています！



ペペ・メメール



6月14、15、16日の3日間、ユニット行事で間魔市へ出かけました。天候も良く、楽しい園外ハイクとなりました。



平成27年度 事業・決算報告

はじめに

平成27年度は、介護報酬のマイナス改定が行われ、各施設とも大きな影響を受けました。この影響を最小限にとどめるため、それぞれが利用の確保等に対応を行いました。特養は概ね前年度並み、ショートステイ・デイサービス事業に関しては、いずれも前年度を下回る厳しい結果となりました。

また、近年の利用実績及び配置職員等の状況を踏まえ、平成28年度より、いこいの里のショートステイ事業を廃止することを決定いたしました。これに伴い、現在ご利用いただいている方々について、法人内施設での振替利用並びに居宅介護支援事業所、市内他事業所へ協力を依頼し、サービスの継続利用の対応を行いました。

人材確保についても、求人説明会や体験型見学会の開催等を通じてPRを行いました。大きな課題ではありますが、短期間で十分な成果を得ることが困難であるため、今後も引き続き様々なアイデアを出し合い、効果的な採用活動に取り組んでまいります。

【法人全体】

○人材確保に向けた取り組み

人材確保に向けた取り組みとして、7月と9月に体験型見学会（会場：ペペ・メメール）を開催し、合計13名の参加をいただきました。入浴や食事、車椅子を使用した介護体験や職員との意見交換を通じて、介護の仕事に対する理解を深めてもらい、この企画により3名の職員を採用しました。

また、学生を対象とした企業説明会、その他ハローワーク主催の説明会への参加や一般求職者への求人説明会を開催し6名の職員を採用しました。

○経費削減の取り組み

介護報酬の改定により、財政的に大きな影響を受けました。収入の確保と併せて、経費の削減についても取り組みを開始しました。寝具や紙オムツ類、紙類、印刷物等について、法人一括契約（購入）を開始しました。

また、平成28年度からLPガスについても契約内容の見直しと一括契約を行うための準備を開始しました。その他消耗品についても範囲を拡大し経費の削減に取り組んでまいります。

○人材育成の取り組み

法人合同研修（4回実施）と施設内研修（月1回実施）を組み合わせ、資質向上に向けて取り組みました。合同研修においては、制度上求められている内容を中心にテーマを設定し、外部講師による研修を実施しました。平成28年度については、現場からの要望を反映した研修テーマにより企画してまいります。



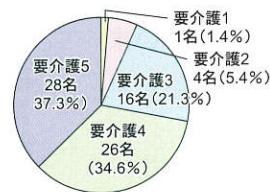
○障がい者雇用

当法人の法定雇用人数は6人となっており、法定雇用人数に0.5人届かない状況となりました。いこいの里では、たいようSOCIOセンター、こすもす作業所の実習受け入れを行いました。実習を通して雇用に結びつけられるよう、継続して取り組んでまいります。それ以外の施設においても、障がい者雇用への理解を深め、受入れ体制の整備を行うなど、関係事業所と連携を図ってまいります。

【特別養護老人ホーム利用者の状況】 (平成28年 3月31日現在)

いこいの里 定員80名

○要介護度の状況



平均要介護度 4.0
平均年齢 87.7歳

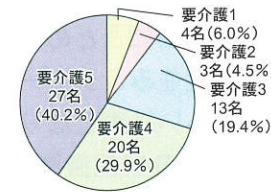
○入退所の状況

入所 15名	退所 19名
【経路】	【理由】
・在宅 5名	・死亡 14名
・病院 2名	・入院 4名
・老健 4名	・その他 1名
・その他 4名	

○入所申込者の状況 448名

柏柳の里 定員70名

○要介護度の状況



平均要介護度 3.9
平均年齢 86.5歳

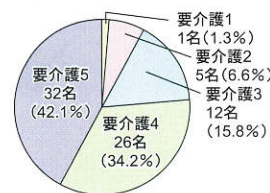
○入退所の状況

入所 21名	退所 22名
【経路】	【理由】
・在宅 14名	・死亡 18名
・老健 5名	・入院 4名
・その他 2名	

○入所申込者の状況 313名

くじらなみ 定員80名

○要介護度の状況



平均要介護度 4.0
平均年齢 86.6歳

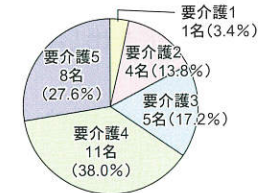
○入退所の状況

入所 20名	退所 23名
【経路】	【理由】
・在宅 6名	・死亡 13名
・病院 1名	・入院 10名
・老健 10名	
・その他 3名	

○入所申込者の状況 420名

たんねの里 定員29名

○要介護度の状況



平均要介護度 3.7
平均年齢 89.3歳

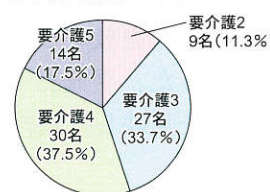
○入退所の状況

入所 6名	退所 6名
【経路】	【理由】
・在宅 3名	・死亡 2名
・老健 1名	・入院 4名
・その他 2名	

○入所申込者の状況 231名

ペペ・メメール 定員100名

○要介護度の状況



平均要介護度 3.6
平均年齢 87.7歳

○入退所の状況

入所 41名	退所 20名
【経路】	【理由】
・在宅 16名	・死亡 8名
・病院 1名	・入院 12名
・老健 13名	
・その他 11名	

○入所申込者の状況 391名

特養については、今年度の利用実績は厳しい結果となりました。入院者の増、退所に伴う欠員の発生により早期の補充に努めましたが、入所手続きが追い付かず、当初の見込みに届かない状況となりました。今後も、嘱託医、協力病院と連携を図り健康管理に努め、皆様がその人らしく安心・安全に生活していただけるよう、多職種協働で取り組んでまいります。



【在宅サービスの利用状況】

1. ショートステイ利用状況

	いこいの里	柏柳の里	くじらなみ
定員	20名	20名	20名
延べ利用日数	6,016日	6,441日	6,051日
1日平均利用者数	16.5名	17.6名	16.5名
月平均利用率(%)	82.9%	88.0%	82.7%

2. デイサービス

	いこいの里	柏柳の里
定員	25名	25名
月平均実利用人数	112.0名	72.8名
月平均延利用者数	617.0名	537.0名
1日平均利用者数	20.2名	17.6名

ショートステイについては、いこいの里では平成27年度に定員を20名に変更して事業を行い、利用率の面では、80%を超える利用率となりましたが、平均利用者数でみた場合、1日あたり約5名の減となりました。柏柳の里においては、送迎範囲の拡大等の取り組みを開始し、前年度を上回る実績となりました。くじらなみにおいては前年度と比較して若干利用率が低下しましたが、年間を通して安定的な利用を確保しました。今後も関係機関と連携し、利用者の在宅生活を支援するとともに、各施設の特徴を生かしたサービスの提供に取り組んでまいります。

デイサービスについては、前年度を大きく下回りました。両施設とも、他施設への移行、長期入所、体調不良等の影響により下半期(特に冬期間)の利用が減少しました。在宅サービス事業所の増加等により、利用者の確保が困難な状況が続くと考えられます。今後も関係事業所との連携、情報発信を行い、利用の確保に努めてまいります。

【一般高齢者・特定高齢者介護予防事業の状況】

くじらなみでは柏崎市より受託し、地域の高齢者を対象に運動教室を実施しております。

	年間合計	月平均
教室回数	166回	13.8回
実利用者数	80名	6.7名
延利用者数	471名	39.3名
一般開放回数	196回	16.3回



くじらなみ

一般開放の様子



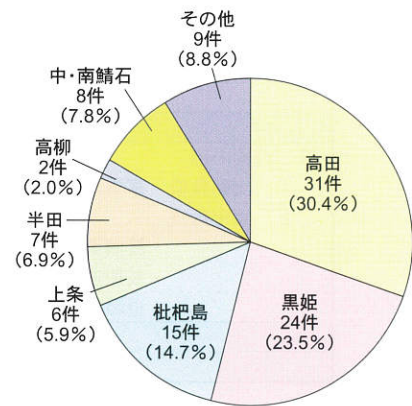
【居宅介護支援事業所いこいの里の状況】

【南地域包括支援センターの状況】

活動内容	実施
啓発活動の実施・地域活動への参加	25回
総合相談	350件
権利擁護事業	53件
地域ケア個別会議の開催	4回
地域ケア圏域会議の開催	1回
介護予防サービス計画作成	1,099件



- 介護給付管理年間実績
1,228件（介護予防支援含む）
- 地区別利用件数



【苦情解決受付状況】

浜山会5施設で提供しているサービス（長期入所、ショートステイ、デイサービス）について寄せられた苦情の件数と内容について報告します。

	いこいの里	柏柳の里	くじらなみ	たんねの里	ペペ・メメール	全体
職員の態度・言動	2	1	1	1	1	6
処遇内容	7	3	1	1	1	13
物品管理	1	0	0	0	0	1
合計	10	4	2	2	2	20

浜山会では、各施設長を苦情解決責任者とし、各事業所に受付担当者を置き、担当者が窓口となって、対応しております。平成27年度は全体で20件の苦情等を受け付けました。これらの苦情につきましては、迅速に対応し、改善に努めております。今後も、皆様の苦情や要望の声を真摯に受けとめ、より質の高いサービスの提供に繋がっていきたくと考えております。苦情、要望、相談等ございましたら、来園、電話、文書等どのような形でも受け付けておりますので、皆様の声を施設にお寄せ下さい。よろしくお願いいたします。

苦情解決の流れ



平成27年度 社会福祉法人泚山会 決算報告

財 産 目 録

平成28年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産 現金預金他	958,304,105
2. 固定資産	4,058,703,745
(1) 基本財産	3,848,547,453
土 地	503,793,258
建 物	3,344,754,195
(2) その他の固定資産	210,156,292
構築物	61,540,293
機械及び装置	55,023,822
車輛運搬具	5,407,349
器具及び備品	40,665,580
権利	67,608
ソフトウェア	886,140
退職給付引当資産	27,919,500
その他の固定資産	18,646,000
資 産 合 計	5,017,007,850
II 負債の部	
1. 流動負債 事業未払金他	173,452,814
2. 固定負債	1,221,967,500
設備資金借入金	1,107,938,000
長期運営資金借入金	86,110,000
退職給付引当金	27,919,500
負 債 合 計	1,395,420,314
差 引 純 資 産	3,621,587,536

資 金 収 支 計 算 書

(自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日)

(単位：円)

勘 定 科 目		予 算(A)	決 算(B)	差 異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	介護保険事業収入	1,784,070,000	1,785,493,453	△1,423,453
	借入金利息補助金収入	760,000	757,697	2,303
	経常経費寄附金収入	561,000	546,980	14,020
	受取利息配当金収入	959,000	997,438	△38,438
	その他の収入	6,854,000	6,888,152	△34,152
	事業活動収入計(1)	1,793,204,000	1,794,683,720	△1,479,720
	支出			
	人件費支出	1,215,736,000	1,201,308,177	14,427,823
	事業費支出	328,504,000	302,741,017	25,762,983
事務費支出	151,621,000	135,212,216	16,408,784	
利用者負担軽減額	680,000	369,320	310,680	
支払利息支出	15,991,000	15,925,006	65,994	
事業活動支出計(2)	1,712,532,000	1,655,555,736	56,976,264	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	80,672,000	139,127,984	△58,455,984	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	51,091,000	51,088,243	2,757
	施設整備等収入計(4)	51,091,000	51,088,243	2,757
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	81,266,000	81,263,243	2,757
固定資産取得支出	11,962,000	11,027,808	934,192	
施設整備等支出計(5)	93,228,000	92,291,051	936,949	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△42,137,000	△41,202,808	△934,192	
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動による収入	3,879,000	3,877,983	1,017
	その他の活動収入計(7)	3,879,000	3,877,983	1,017
	支出			
	長期運営資金借入金元金償還支出	2,778,000	2,778,000	0
	積立資産支出	3,466,000	3,484,500	△18,500
	その他の活動による支出	3,480,000	3,480,000	0
	その他の活動支出計(8)	9,724,000	9,742,500	△18,500
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△5,845,000	△5,864,517	19,517	
予備費支出(10)	42,930,000	0	42,930,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△10,240,000	92,060,659	△102,300,659	
前期末支払資金残高(12)	794,032,963	794,035,087	△2,124	
当期末支払資金残高(11)+(12)	783,792,963	886,095,746	△102,302,783	

事業活動計算書

(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス増減の部	収益			
	介護保険事業収益	1,785,495,514	0	1,785,495,514
	経常経費寄附金収益	546,980	0	546,980
	サービス活動収益計(1)	1,786,042,494	0	1,786,042,494
	費用			
	人件費	1,199,564,973	0	1,199,564,973
	事業費	302,741,017	0	302,741,017
	事務費	135,212,216	0	135,212,216
	利用者負担軽減額	369,320	0	369,320
	減価償却費	198,143,546	0	198,143,546
国庫補助金等特別積立金取崩額	△85,544,132	0	△85,544,132	
サービス活動費用計(2)	1,750,486,940	0	1,750,486,940	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	35,555,554	0	35,555,554	
サービス活動外増減の部	収益			
	借入金利息補助金収益	757,697	0	757,697
	受取利息配当金収益	997,438	0	997,438
	その他のサービス活動外収益	6,888,152	0	6,888,152
	サービス活動外収益計(4)	8,643,287	0	8,643,287
	費用			
	支払利息	15,925,006	0	15,925,006
サービス活動外費用計(5)	15,925,006	0	15,925,006	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△7,281,719	0	△7,281,719	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	28,273,835	0	28,273,835	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	51,088,243	0	51,088,243
	固定資産受贈額	198,000	0	198,000
	その他の特別収益	3,877,983	0	3,877,983
	特別収益計(8)	55,164,226	0	55,164,226
	費用			
	固定資産売却損・処分損	7	0	7
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△4	0	△4
	国庫補助金等特別積立金積立額	51,088,243	0	51,088,243
	その他の特別損失	2,061	0	2,061
特別費用計(9)	51,090,307	0	51,090,307	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	4,073,919	0	4,073,919	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	32,347,754	0	32,347,754	
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,659,685,781	0	1,659,685,781
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,692,033,535	0	1,692,033,535
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,692,033,535	0	1,692,033,535	

貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：円)

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	958,354,105	0	958,354,105	流動負債	173,452,814	0	173,452,814
固定資産	4,058,703,745	0	4,058,703,745	固定負債	1,221,967,500	0	1,221,967,500
基本財産	3,848,547,453	0	3,848,547,453	設備資金借入金	1,107,938,000	0	1,107,938,000
土地	503,793,258	0	503,793,258	長期運営資金借入金	86,110,000	0	86,110,000
建物	3,344,754,195	0	3,344,754,195	退職給付引当金	27,919,500	0	27,919,500
その他の固定資産	210,156,292	0	210,156,292	負債の部合計	1,395,420,314	0	1,395,420,314
構築物	61,540,293	0	61,540,293	純資産の部			
機械及び装置	55,023,822	0	55,023,822	基本金	168,287,303	0	168,287,303
車輛運搬具	5,407,349	0	5,407,349	第一号基本金	168,287,303	0	168,287,303
器具及び備品	40,665,580	0	40,665,580	国庫補助金等特別積立金	1,761,316,698	0	1,761,316,698
権利	67,608	0	67,608	次期繰越活動増減差額	1,692,033,535	0	1,692,033,535
ソフトウェア	886,140	0	886,140	(うち当期活動増減差額)	31,568,130	0	31,568,130
退職給付引当資産	27,919,500	0	27,919,500				
その他の固定資産	18,646,000	0	18,646,000	純資産の部合計	3,621,637,536	0	3,621,637,536
資産の部合計	5,017,057,850	0	5,017,057,850	負債及び純資産の部合計	5,017,057,850	0	5,017,057,850

※平成27年度から新会計基準へ移行したため、前年度額の記載はありません。

体験型職場見学会

◇ お知らせ ◇

今年度第2回目体験型職場見学会を開催します。
介護の仕事に就きたいと考えている方、介護
の仕事に興味のある方はぜひご参加下さい！

日 時：8月20日（土）午前10時～午後1時
会 場：特別養護老人ホーム ペペ・メメール
参加費：無料
内 容：施設見学、介護技術体験、職員との意見
交換会、昼食会（こちらで用意いたします。）
申込方法：法人本部事務局へ電話又は郵送
（参加者氏名・住所・電話番号ご記入下さい。）
申込締切：8月16日（火）
申込・お問い合わせ ☎41-6635
【担当】林・佐藤

5月28日に体験型職場見学会を開催しました。介護の仕事内容の紹介、施設見学、車椅子操作や食事体験などを行いました。参加者の方からは「貴重な経験ができた」「利用者さんに優しい」「きれいで落ち着いていて良い施設だと思った」等の感想をいただきました。



施設見学



入浴機器の説明



食事体験



車椅子操作体験



研修会の様子

去る六月十日、平成二十八年
度第一回目の法人職員研修が行
われました。キャリア形成訪問
指導事業を活用し、新潟県介護
福祉士会の大塚トシ子先生を講
師に招き、接遇研修を行いました
た。接遇の基本や言葉遣いの基
本となるコミュニケーションの基
ポイントを学びました。接遇マ
ナーを身に着けることは、利用
者や家族の皆様をはじめ、サ
ビスに係る全ての方々との良好な
関係を築き、質の高いサービス
を提供するためにはとても大切
なものです。参加した職員も熱
心に耳を傾けておりました。こ
の研修を生かして今後もサービ
スの質の向上に取り組みしてい
ります。

法人職員合同研修 福祉施設職員の接遇について

職員紹介 介護の現場で元気に働く職員をご紹介します!



特別養護老人ホーム
いこいの里
介護職員 桝掘 未央

いこいの里に勤務して1年が経ちました。勤務し始めた頃は、毎日が緊張の連続で失敗もありましたが、先輩方からわかりやすく教えていただき、仕事も慣れてきました。これからも利用者の皆様とコミュニケーションを大切に、笑顔で頑張っていきたいと思っております。



特別養護老人ホーム
柏柳の里
介護職員 坂田 彩香

私は柏柳の里での勤務は8年目となりました。日ごとに変わる利用者の方の状態把握や介護を行う上で悩む事もありますが、そんな時は職員同士で助け合い、力を合わせてより良い生活を送れるよう支援させて頂いています。

編集後記

今回の広報では、平成二十七年度の事業報告を中心にお届けしました。八月二十日には今年度二回目の体験型見学会を開催いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

(本部事務局 林)